

Good luck. Good life.

SANKYO REPORT

第52期

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第52期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）のご報告をするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。



代表取締役会長

加藤 孝行



代表取締役社長

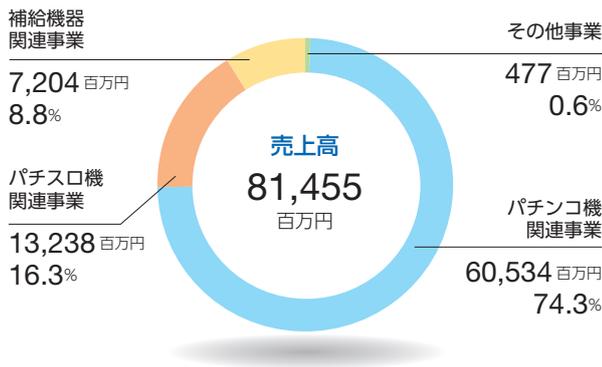
簡井 公久

平成29年3月期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所環境の緩やかな回復傾向が継続する一方、米国の新政権誕生による政策の動向及び影響、ならびに中国をはじめとしたアジア新興国経済の先行き不透明感などが日本の景気下押しリスクとして懸念される状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、パチンコにおいて平成28年12月末までの「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去、パチスロにおいて「新基準に該当しない胴式遊技機」の設置比率の順次引き下げを決定し、のめり込み防止などを目的とした自主規制に対応した新基準機への入替に業界を挙げて取り組みました。この結果、主に年末商戦において

● セグメント別売上高構成比



パチンコの人気シリーズ機の回収・撤去に伴う後継機種の販売が盛り上がりましたが、パチンコパーラーは新基準機の評価を見極めたいとの動きが強く、年間を通してパチンコ、パチスロともに販売市場は低調に推移いたしました。

こうした中、当社グループではパチンコ11タイトル（リユース機を除く）、パチスロ6タイトルを販売いたしました。定番シリーズとなったBistyブランドのパチンコ「エヴァンゲリオン〜いま、目覚めの時〜」の販売が順調に推移したものの、市場全体の販売少ロット化の影響もあり、その他のタイトルは総じて苦戦を余儀なくされました。

以上の結果、売上高814億円（前期比40.6%減）、営業利益50億円（同73.1%減）、持分法による投資損失22億円を計上したことから経常利益38億円（同80.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は17億円（同83.0%減）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、売上高605億円（前期比38.4%減）、営業利益104億円（同45.4%減）、販売台数172千台となりました。主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーa-nation」（平成28年7月）、「フィーバータイガーマスク3」（平成28年11月）、Bistyブランドの「鉄拳2 闘神ver.」（平成28年8月）、「エヴァンゲリオン〜いま、目覚めの時〜」（平成28年12月）、JBブランドの「フィーバークイーンII」（平成29年1月）であります。

連結財務データ (平成29年3月期)

売上高

81,455 百万円 (前期比 40.6%減)

営業利益

5,059 百万円 (前期比 73.1%減)

経常利益

3,832 百万円 (前期比 80.8%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

1,777 百万円 (前期比 83.0%減)

パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、売上高132億円（前期比49.1%減）、営業損失2億円（前連結会計年度は48億円の営業利益）、販売台数32千台となりました。主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ戦姫絶唱シンフォギア」（平成28年8月）、「パチスロ涼宮ハルヒの憂鬱」（平成28年12月）、Bistyブランドの「エヴァンゲリオン・勝利への願い」（平成29年2月）、「パチスロ機動戦士Zガンダム」（平成29年3月）であります。

補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高72億円（前期比40.8%減）、営業利益3億円（同8.9%減）となりました。

その他

その他につきましては、売上高4億円（前期比30.8%減）、営業損失6億円（前連結会計年度は7億円の営業損失）となりました。

平成30年3月期の見通し

次期（平成30年3月期）の市場環境につきましては、平成28年12月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」（通称：IR推進法）が成立したことに伴い、パチンコ・パチスロ業

界は公営競技などとともにギャンブル等依存症対策に真摯に取り組むことが求められております。このため、規制の見直しなど環境変化が予想されますが、従来からの業界の課題である気楽に楽しめる遊技環境の整備に大きく舵を切るチャンスであり、当社といたしましても多様なゲーム性の遊技機開発に取り組むとともに、コスト削減を進めることで収益の回復を図ってまいります。

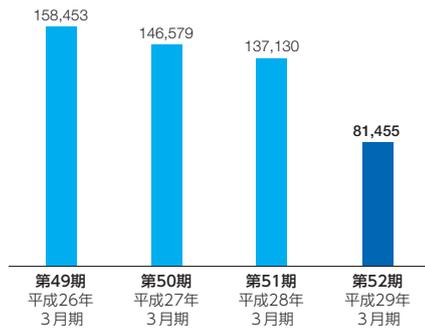
以上に基づき、当社グループの次期のパチンコ販売台数は225千台、パチスロ販売台数は40千台を計画しており、連結業績見通しは売上高970億円（前期比19.1%増）、営業利益81億円（同60.1%増）、経常利益87億円（同127.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は58億円（同226.3%増）を見込んでおります。

● 平成30年3月期 連結業績予想

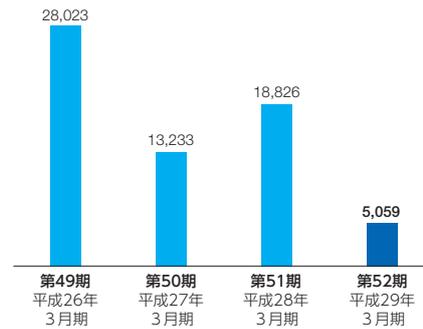
売上高	97,000百万円	(前期比 19.1%増)
営業利益	8,100百万円	(前期比 60.1%増)
経常利益	8,700百万円	(前期比 127.0%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,800百万円	(前期比 226.3%増)
1株当たり当期純利益	71.58円	
1株当たり年間配当金 内、中間配当金	150円 75円	

連結決算ハイライト

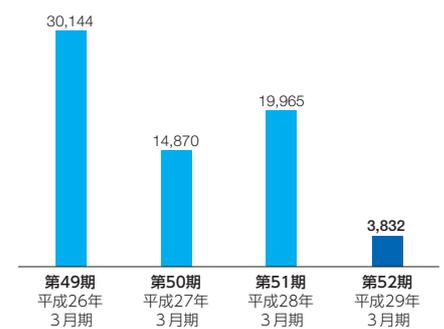
売上高 (単位：百万円)



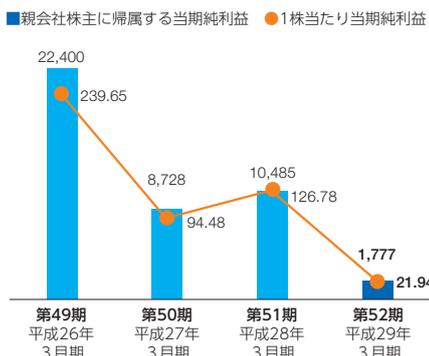
営業利益 (単位：百万円)



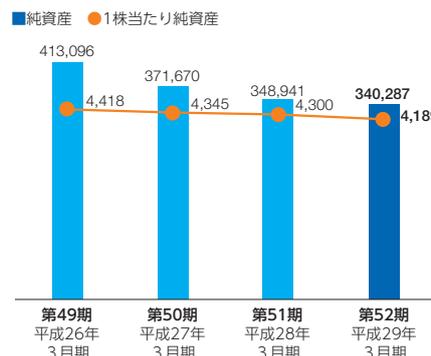
経常利益 (単位：百万円)



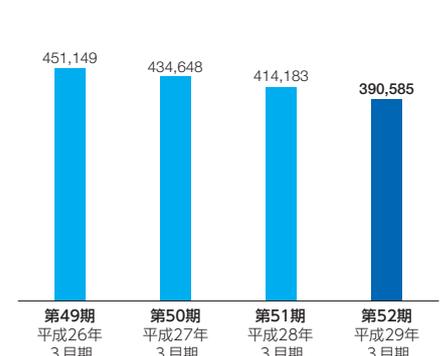
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)
1株当たり当期純利益 (単位：円)



純資産 (単位：百万円)
1株当たり純資産 (単位：円)



総資産 (単位：百万円)



開発チーム
座談会

商品本部 PS開発部 PS開発課
ディレクター (本文中はDに省略)

営業を5年経験し、商品本部でも5年が経過。つねにマーケットを意識し、お客様目線で考えることをモットーとしている。

商品本部 第一開発部 デザイン課
デザイナーB (本文中はBに省略)

原作の持つアニメキャラクターの世界観を共有できる実務派。デザイナー一筋、12年のキャリア。

商品本部 PS開発部
プロデューサー (本文中はPに省略)

プロジェクトのリーダー。過去に様々な機種開発に従事し、現在はパチスロ開発の責任者として助言、アドバイスを行っている。

商品本部 第一開発部 特機課
技術者A (本文中はAに省略)

搭載される部品の精度から組み合わせまでを担当する技術者。リリースした機種は20タイトルを超える。



©2009,2011 ビックウエスト/
劇場版マクロスF制作委員会

ファン待望の新機種 「パチスロ マクロスフロンティア3」

パチンコ、パチスロと人気を維持し続けるマクロスフロンティアシリーズ。ファン待望の「パチスロ マクロスフロンティア3」(以下、マクロスF3に省略)は、2017年5月にリリースされた。アニメシリーズの世界観を大切に扱いながらも、自由な発想で開発を続けてきた開発チームに話を聞いた

エンタテインメントの新境地を拓く新筐体

P 本日は「マクロスF3」の主要開発メンバーに集まってお話を聞きました。プロモーションを兼ねながら、本機の特徴、開発のポイントなどを忌憚なく話し合いたいと思います。私としては開発メンバーを選んだ責任もありますから、「ここに力を入れた」という話が聞きたいですね。

D マクロスF2から担当していたので、本プロジェクトにはすぐに参加を希望しました。さらに良い商品にしたいという気持ちは人一倍でしたから。ディレクターとして企画から演出・スペックを考案「ファンを裏切らずにどう進化させるか」それが大きなテーマでした。

B 進化については同じ悩みでした。特に筐体のデザインには苦労しましたが、アニメに登場する2大歌姫シェリルとランカのイメージカラーであるピンクとグリーンを筐体の左右で大胆に色分けする新しい発想にたどり着き、ファンの気持ちに応えるものができたと自負しています。パチンコパーラーで目立つこと間違いなしです。

A 筐体の設計については、キャラクターが発する音声をしっかりプレイヤーの耳に届けるようにというディレクターからのシビアな指示がありました。そのため、多くのパチスロ機が筐体上部にスピーカーを配置しているのに対し、限られたスペースしかない中段にスピーカーを配置しようやく実現、音でもアニメの世界観に浸ることができる筐体を完成させました。

D 無理な要望をたくさん出してすみませんでした。

パチスロ文化を牽引する新しい付加価値

P こうしてプロジェクトを振り返ってみても、やはり「作ることよりも考えることが難しい」というのが実感でしょうか。営業部門からのフィードバックや市場データはもちろん、皆が様々なデータを照らし合わせながら自分で考えていましたね。

D どのようにすればプレイヤーを満足させられるかを常に考えています。マクロスF3ではキャラクターを新たに書き起こすとともに、パチスロ用の新曲も搭載していますが、これらは長年のSANKYOとしての信用と多くの方々の協力がなければ実現できませんでした。

B 新機種がリリースされるのは開発開始から1~2年後、次を見据えて考える習慣を身につけることで判断力を高めています。

A やはり開発の基本として、パチスロの操作性の良さは外せません。デザインに凝りすぎてストップボタンが押しにくくなるとは本末転倒です。

P チーム力、団結力のオールSANKYO。マクロスF3をきっかけに、皆と新しいマーケットを切り拓いていきたいですね。ジャパンアニメと同じように、パチスロ文化も世界の耳目を集める日が来るかもしれません。

TREND

アニメ「マクロスフロンティア」のご紹介

「マクロスフロンティア」は、2008年にマクロスシリーズ25周年を記念して放映された人気アニメ作品です。

物語は、2059年の銀河を舞台に清純派アイドル「ランカ・リー」と洋楽ディーバ「シェリル・ノーム」の二人の歌姫を軸に、歌舞伎役者を辞めてパイロットを目指す「早乙女アルト」への愛を育みながら展開していきます。



©2009,2011 ビックウエスト/
劇場版マクロスF制作委員会

マクロスシリーズの特徴でもある「可変型戦闘機によるメカバトル」「個性的なキャラクターが織りなす三角関係」「作品ごとに書き下ろされたオリジナル楽曲」の3つのコンセプトが組み合わさり、映画、DVD、CDなども大ヒットを記録しました。とくに楽曲は、放映から10年近く経過した現在においてもアニメソングランキングで上位にランクインしており、カラオケの定番になっています。

さらに「パチスロ マクロスフロンティア3」の発売に合わせてリリースした新曲「ゴ〜〜ジャス」は週間オリジナルアニメソングランキングで1位を獲得するなど、マクロスフロンティアの人気は今なお健在です。

PICK UP ◀ 詳しくは裏面をご覧ください。

PRODUCT

「新夏祭り」のご紹介

2003年「フィーバー夏祭り」、2008年「フィーバー大夏祭り」と続けてヒットを記録した夏祭りシリーズが9年ぶりに復活。代名詞であるオリジナルキャラクター「花菱一家」と楽曲『夏祭り』(JITTERIN'JINN)は最新作においてももしっかりと引き継いでいます。

さらに「新夏祭り」では筐体、音響、映像効果は大幅にグレードアップ、新たにオリジナルの新曲を搭載するとともに、花火を見事に打ち上げる「花火演出」は大型化したギミックにより盤面全体に緑り広がられます。



NEWS

株主優待のお知らせ

SANKYOでは、株主の皆様からの日頃のご支援への対応と、当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、当社グループのゴルフ場『吉井カントリークラブ』(群馬県高崎市)

贈呈基準 平成29年3月31日を基準日とする株主様に贈呈する株主優待券より、優待内容を下表のとおり変更いたします。

● 変更前

保有株式数	ご利用日	優待内容	贈呈枚数
100~999株	全日	5,000円割引券	1枚/1回
1,000~9,999株	全日	プレーフィー無料券	1,000株につき1枚/1回
10,000株~	全日	プレーフィー無料券	一律10枚/1回

● 変更後

保有株式数	ご利用日	優待内容	贈呈枚数
100~999株	平日	10,000円割引券	1枚/1回
	土日、祝日	5,000円割引券	
1,000~9,999株	全日	プレーフィー無料券	1,000株につき1枚/1回
10,000株~	全日	プレーフィー無料券	一律10枚/1回

※ 平成28年9月30日の株主名簿に記載または記録された株主様に贈呈している割引優待券につきましては、全日5,000円割引となります。

● 発行日・有効期間

対象となる株主様	発送日	有効期限
3月31日現在の株主様	6月下旬	翌年の2月末まで
9月30日現在の株主様	12月初旬	翌年の8月末まで

吉井カントリークラブ

〒370-2138 群馬県高崎市吉井町下奥平554
ホームページ: <http://www.ycc-golf.co.jp/>

会社概要

商号	株式会社 SANKYO (登記社名 株式会社 三共)
本社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
設立	昭和41年4月
資本金	148億4千万円
従業員数	連結: 1,065名 単体: 849名
主要な事業内容	遊技機 (パチンコ機、パチスロ機) の製造 及び販売、補給機器等の設計施工及び販売
連結子会社	株式会社三共エクセル 株式会社ビスティ 株式会社三共クリエイト インターナショナル・カード・システム株式会社 株式会社ジェイビー
持分法適用会社	フィールズ株式会社

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役会長	CEO	毒島 秀行
代表取締役社長	COO	筒井 公久
取締役専務執行役員	営業本部長 兼 パーラー事業部長	富山 一郎
社外取締役		木谷 太郎
常勤監査役		鶴川 詔八
監査役		石山 俊明
社外監査役		真田 芳郎
		野田 典義
常務執行役員	商品本部長	東郷 裕二
	知的財産本部長	小倉 敏男
	製造本部長 兼 三和工場長	高井 克昌
	管理本部長	大島 洋子
執行役員	管理本部 情報システム部長	古平 博
	商品本部	福田 隆
	商品本部 商品部長	堤 順一
	商品本部 商品戦略室長 兼 購買部長	関根 史高
	商品本部 PS開発部長	鴨田 久
	営業本部副本部長 兼 販売戦略部長	尼子 勝紀
		蒔田 穂高

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人、 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(URL http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html)

株式の状況

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	89,597,500株
株主数	12,235名

大株主の状況

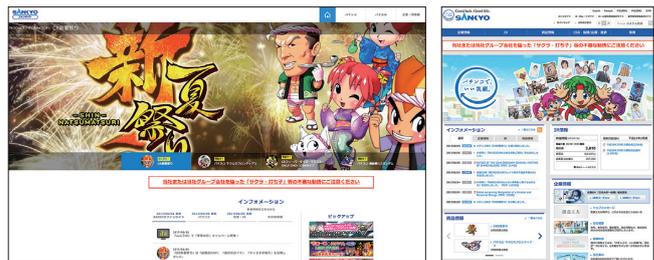
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マーフコーポレーション	28,346	31.63
株式会社SANKYO	8,420	9.39
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	3,145	3.51
赤石 典子	2,506	2.79
毒島 章子	2,506	2.79
毒島 秀行	2,431	2.71
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	2,400	2.67
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	1,283	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口5)	1,021	1.14
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	996	1.11

(注) 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SANKYO 検索 <http://www.sankyo-fever.co.jp/>



株式会社 SANKYO

本社：〒150-8327 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
お問い合わせ先：☎ 03-5778-7777 (代表)



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。